

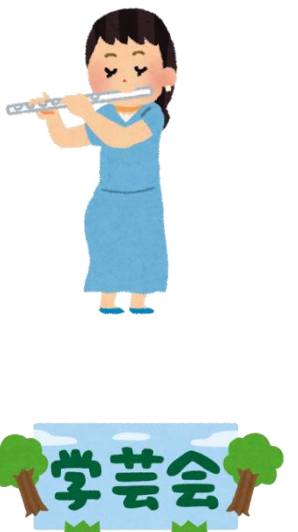


芝小だより



第十一月号

発行所 港区立芝小学校
〒105-0014
港区芝 2-21-3
[TEL:03-3456-3072](tel:03-3456-3072)
[FAX:03-3456-3071](tel:03-3456-3071)



十八年ぶりに込める「思い」

校長 齋藤幸之介

今年の秋は例年に比べて雨模様の日が多く、子供たちにとっては過ごしにくい場合が増えてしまっています。しかし、前回書でも述べましたが、本校の子供たちは「様々な秋」を体験し、そして成果を味わっています。十月二十四日、六年生は江東区にある夢の鳥競技場で行われた「連合運動会」に参加しました。各自百メートル走と、走り高跳び、走り幅跳び、ハードル走、ソフトボール投げの中から選んだ一つに挑戦しました。六年間の体育学習の成果と競技への思いを、一瞬とも思える時間につけてきました。「思い」「思い」「支える」としてスポーツについて「知る・分かる」という体育学習の目的を達成できたと見取っています。また、同二十八日には、「芝シンフォニックプラス オータムコンサート」が行われました。部員がこれまでの成果を参観された皆様披露できました。素人の私が聴いても、年度当初と比べて音量そして音の厚みが増した素晴らしい演奏に変わってきた。と感激をいたしました。

他校でも、秋の催しが盛んに行われています。例えば、これも十月二十八日でしたが、港区立三田中学校で合唱コンクールが行われました。私は、主に中学三年生と学年全体で歌う学年合唱を聴きました。この行事に賭ける中学生の強い思いを感じることで嬉しかったです。特に、三年生の真剣さは、歌声だけでなく、歌っているときの表情、体の動き、また、曲想に合わせた指揮者の背中からも伝わってきました。自ら表現して行うことは中学生の思いに圧倒されました。本校の子供たちの目指すべき姿を伝えていきたいと思っております。

なお、本校では十一月十七・十八日に学芸会を行います。すでにパンフレットでもお伝えをしておりますが、本校教員は夏休みを活用して台本を作成しま

した。二学期に入ってから大道員の製作に取り掛かっています。また、担任教員は試行錯誤をしながら小道具の試作を行い、演技を一層引き立てる工夫をしています。図工専科教員・音楽専科教員も演出の一助となるべく自身の専門を生かしています。保護者の皆様には今後衣裳等についての御協力をお願いすることになりますが、ご協力をお願い申し上げます。

十八年ぶりに込める「思い」とは

- (一) よりよいものを創り上げていくという心情を育てる。
- (二) 一人一人が役割を果たすことにより、互いの役割の違いを認め、協力し、励まして合おうとする態度を身に付けさせる。
- (三) 表現する楽しさや面白さを味わうことにより、感動を共有する豊かな心を育てる。

これらは一朝一夕でできることではなく、例えば国語科を中心に行っている「読む」「活動」「図画工作科などで行っている」「製作」「活動」「音楽科で学習している」「歌唱」を中心とした活動、体育科で味わっている「よりよい動き」を体得する活動、そして様々な領域で行われている発表したり友達と話し合ったりする活動など、平素で行っている多くの教科等の成果を生かしていくことにより大きな意味があります。また、学芸会への取組を通して、その後の様々な学習活動の一層の充実を図ることができそうです。私共が改めて学芸会に焦点を当てて指導を行っている意味があるのです。

子供たちが表現の意味

表現活動の重要性は多岐にわたりますが、まず、学校教育において最も求められる充実を求めながら必ず位置付けている課題でもあります。インターネットで

大学の案内を検索していても確認することができません。人間は以前より思考や感情を表現する欲求をもっていること、コミュニケーションを図ろうとするための方策や豊かな情操と創造性を育成するための手段として不可欠であることなどを見い出せます。

私事で恐縮ですが、知人の勧めでほんの少しの機会ですが演劇を観賞したことがありました。今でも忘れられないのが、「ノース」(劇団・オンシアター自由劇場)でした。平安時代初期の政変が演じられた作品でしたが、主演女優の吉田日出子の演技に引き込まれていへども言われぬ思いは、今でも私の中に残っています。また、第6学年の社会科で約四百年続いている江戸時代の文化として紹介されている歌舞伎は、役の性格や端的に表現するための誇張や様式化を行いながら、舞踊や音楽なども採り入れた総合芸術として今でも人々を魅了しています。

変化の激しい世の中、という表現はそこかしこで使われますが、子供たちが自分らしく、そして多くの人々と密に関わりながらこれからの時代を創造していくためには、自らを表現して自分を相手に理解してもらおうと相手と理解することが重要です。そのためには言語による表現と共に、様々な方法を駆使していくことが必要です。子供たちには、演じることで、様々な手法を用いて表現することを経験させたいと考えています。同時に、一つの作品の中で演じながら、友達の様々なまぶさに気づき、自分の中にも採り入れながらさらに豊かに表現できるものにしていきたいと思っております。

子供たちは練習すればするほど表現する難しさを味わうかもしれませんが、時には私共も積極的に助言を例示しながら、子供たちと教員が一体となって今できる最高の作品を創りだしたいと思っております。ご期待ください。